

# 2018年度 プロジェクトレポート

ご支援ありがとうございました。国内外のプロジェクトパートナーから、この1年間の成果が届きましたのでご覧ください。

P.P. = プロジェクトパートナー

2018年度の実績(概算)

## ソロモン諸島 熱帯雨林保全



緑地を整備しながら環境教育を実施。アンテナショップは黒字化を達成しました。

農林部での職業訓練校の運営を通じて、環境保全と経済的な豊かさの両立をめざすプロジェクトです。すでに緑地の造成作業は完了したため、昨年度は維持管理に重点をおいた活動へ。年明け早々にサイクロンの被害を受けたものの、このピンチも何とか乗りきることができました。またアンテナショップでは、黒字を継続。今後は、カカオ豆を原料とした商品の生産と販売も視野に入れています。

支援金額  
7,200,000円

緑地管理面積  
8,000m<sup>2</sup>

子どもたちの明るい笑顔が世界中に広がります様に！ソロモンへのご支援ありがとうございます。



ディクソン・ナロさんと現地の子どもたち  
P.P. 特定非営利活動法人 エービーエスディ (APSD)

## パプアニューギニア 熱帯雨林保全



農薬を使わずに、農作物を害虫から守ることで、タロ芋などの収穫アップをめざしました。

過剰な焼き畑や森林伐採のリスクを伝えながら、定置型有機農法を普及させていく。この目的を達成するために、主食のひとつであるタロ芋を食い荒らす害虫に対して、有効な防除法を探りました。何かしらの対策を講じた畑では、20%ほど被害が減るという効果が出ています。また稲作では、現地のお米にも対応する日本製の精米機を導入し、農家の生産性アップを図りました。

支援金額  
6,592,221円

タロ芋での防除調査  
439品種



生物多様性の宝庫 熱帯原生林を守ります！  
荏原 美知勝さんと現地の方々  
P.P. 公益財団法人 オイスカ

## キリバス共和国 南太平洋諸国支援



天候不良などの困難にも負けず、目標を上回るマングローブを海岸線に。

年々、キリバス政府からの期待も高まるマングローブの植林プロジェクト。しかし上期は現地の飛行機の機体トラブル、下期は天候不良に見舞われてしまいました。その影響で、予定していた一部の地域では植林ができなかったものの、代わりにタラワ環礁では予定を大きく上回る本数を植えることができました。今後は、現地の若者たちの参加をさらに促していきます。

支援金額  
2,712,691円

マングローブの植林  
9,113本



おかげさまで現地の方々の活動の輪が広がっています。  
毛塚 みおさん  
玉城 エリ子さん  
大城のぞみさん  
木村 法実さん  
P.P. 特定非営利活動法人 国際マングローブ生態系協会

## ツバル 南太平洋諸国支援



植林したマングローブは、なんと目標数の2.7倍。島民の環境意識も育っています。

地球温暖化による海面上昇は、ツバルのような小さな島国では死活問題。マングローブの植林は、地球温暖化や海岸線の浸食に効果が期待される重要な取り組みです。首都に近いフナフチ環礁では、猛烈な日差しの中かで27,000本もの苗木を植えることができました。そして現地のボランティアに一連の流れを習得してもらうために、種の採取から参加していただきました。

支援金額  
2,571,541円

マングローブの植林  
27,000本



ツバルのために2万7千本の植林を行いました！  
遠藤 秀一さん  
アピネル・チリさん  
河尻 京子さん  
P.P. 特定非営利活動法人 ツバルオーバビュー

## ネパール 野口健 ヒマラヤに森をつくらう



ヒマラヤ山脈という厳しい環境で、高地に耐えられる苗を育てています。

標高3,500mの高地にあるサマ村は、ネパールの首都から車で1日、さらに徒歩で1週間の地点にあります。かつてあった森林を取り戻すというプロジェクトも3年目。昨年には、ついに種から育てた苗木を植えることができました。そして今日も、継続的に植林ができるように苗の育成を続けています。またこの活動に興味をもった村人が、アシスタントになるという明るいニュースも届きました。

支援金額  
4,833,639円

育苗  
27,000本

ヒマラヤの麓で、苗木は順調に育っています



アン・タルケ・シェルバさん 野口 健さん  
P.P. 特定非営利活動法人 ビークエイド

## フィリピン 異常気象に負けない森づくり



暴風に強い在来種も、食用になる果樹も。育てている木々が、暮らしを守っています。

毎年、大型台風の進路にあたりやすいフィリピンでは、強風に負けない木々が求められています。エコカード基金では、現地の気候に順応する在来種のほか、食卓を豊かにしてくれる果樹を中心とした森づくりをサポート。植林した木々が根付くことで土壌が強くなり、土砂崩れが年々減ってきたとの報告も耳にしました。今後は活動の範囲を広げ、さらなる自然林の再生をめざしていきます。

支援金額  
5,215,402円

在来種・果樹の植林  
7,000本

皆さんご支援ありがとうございます。干ばつや山火事に負けず、これからも森づくりをこのチームでやり抜きます！



マリオ・ロベスさんと植林グループの皆さま  
P.P. 公益財団法人 オイスカ

## タイ 東洋ミツバチと一緒に森をつくる



村の人たちと協力しながら、養蜂箱を製作。育ったハチによる受粉が、森の生育に貢献します。

近年、タイの北西部でも熱帯雨林が急速に失われています。そこで森を回復させるために、「植えない植林」といわれる取り組みがスタート。それは東洋ミツバチを育てることで花木の受粉を促し、種子の育成に役立てるというものです。山岳少数民族であるアカ族とリス族の皆さまと一緒に巣箱をつくり、第一歩を踏みだしました。この活動は、養蜂産業の育成にもつながっています。

支援金額  
2,345,000円

養蜂箱の製作  
50箱

養蜂研修と養蜂箱作りにはじめて取り組んだ、タイ山村の中学生たちです。



P.P. 特定非営利活動法人 GONGOVA

## 宮城 海を守るために木を植える 森は海の恋人



植樹祭やSNSを通じて、森・里・海のつながりへの意識が広がりました。

東日本大震災の被害から、宮城の海は驚異的なスピードで豊かさを取り戻しています。そのひみつが豊かな里や山にあることを、イベントや会報誌、さらにはSNSを通じて啓発。恒例の植樹祭には、平成の30年間でおよそ24,000人が参加、42,900本もの苗木を植えることができました。さらにこの活動を引っ張る畠山重篤さんが、NHKや読売新聞で取り上げられ、多くの反響がありました。

支援金額  
2,480,607円

植林  
1,600本

皆さまのおかげで豊かな森と海が広がっています！



畠山 信さん、畠山 重篤さんと現地の方々  
P.P. 特定非営利活動法人 森は海の恋人

## 宮城 海岸林再生10か年計画



太平洋からの強風に、クロマツという壁を。ボランティアの手で、海岸林が育てられています。

東日本大震災で失われた海岸林を復活させる取り組みに、なんと2,213名ものボランティアが参加。植林した場所でのゴミ拾いなどの作業に協力していただきました。そして翌年以降に植林するためのクロマツの苗木も順調に生育し、植林される日を今か今かと待っています。2019年度からは、地元の高校へ向いて啓発活動を行い、参加者の輪をさらに広がっていきます。

支援金額  
4,000,000円

クロマツの育苗  
100,000本

広大な面積ですが、今年も抜かりなく頑張ります。



浅野 奈々穂さん 鈴木 和代さん 吉田 俊通さん  
P.P. 公益財団法人 オイスカ

千葉  
九十九里浜の海岸林を震災前の姿へ戻そう



地元の人たちと木を植えることが、防災意識の高まりにもつながっています。

防災林の専門家、樹木医、さらには市民の皆さまと、東日本大震災の被害を受けた千葉県九十九里浜の海岸林を取り戻す活動なので植林は不可欠。苗を植え付けた場所を保全するために、夏に行われた下草刈りには、6,000㎡の広さに92名のボランティアが参加してくださいました。あの震災から8年が経過し、防災意識の風化を懸念していましたが、目標を超える参加者がありました。

支援金額 2,999,806円  
下草刈り 6,000㎡



P.P. 特定非営利活動法人 森のライフスタイル研究所

東京  
八王子の里山を明るい森に変えていこう



動物と人間が、上手に共生する里山へ。その一歩が動き出しました。

東京都には、まだまだ豊かな山々が残っています。ここ八王子もその地域のひとつですが、手入れが行き届かず生物多様性が損なわれつつあるのも事実。2018年度にスタートしたこのプロジェクトでは、枯れた木々を伐採するなど里山の整備を実施。のべ258名のボランティアの方々と、気持ちの良い汗を流せました。その結果、薄暗かった森は、ほどよい明るさを取り戻しはじめています。

支援金額 1,820,593円  
育樹活動 15,000㎡



P.P. 特定非営利活動法人 森のライフスタイル研究所

静岡  
世界遺産 富士山の森を守り再生させよう



生物多様性の豊かな森を取り戻す活動は、地域を巻き込みながら、その裾野を広げています。

富士山の麓にある2つの森が、本来の姿を取り戻すことをめざしたプロジェクトです。北山工業団地の森では、下草刈りやツタを取り除くことで若い木々が育ちやすい環境に。西白塚協定林では、台風などによって倒れたり枯れたりした木々を間伐。ここでの活動は、エコカードの寄付金の使いみちを見学していただくツアーとして、会員の皆さまにも参加していただきました。

支援金額 2,793,555円  
育樹活動 17,000㎡



P.P. 特定非営利活動法人 富士山クラブ

長野・宮城  
C.W.ニコル・アファンの森と東松島の森づくり



近隣の人たちが参加できるイベントも開催し、木を切るエコを体験してもらいました。

生態系の崩れた日本の森をなんとかしたい。そんな思いから生まれた長野県黒姫にあるアファンの森では、増えすぎたコナラの木を32本間伐したほか、保全活動を知ってもらうためにエコツアーを開催しました。もうひとつの拠点である宮城県の復興の森では、近隣の小学生たちが森の散策路づくりのほか、間伐材でキノコを育てるための原木づくりに挑戦。カラダ全体で森の大切さを学びました。

支援金額 3,147,319円  
育樹活動 150,000㎡



P.P. 一般財団法人 C.W.ニコル・アファンの森財団

兵庫  
人と動物が共生する「安賀彩りの森」



紫陽花や牡丹などの花木を、もういちど里山に。地域に愛される森づくりをめざしています。

広大な山林に、約500本の花木が彩る森をつくっていきます。豪雨の被害が発生した影響で出鼻をくじかれたもの、地域住民と都市部からのボランティアが共同で作業。専門家の指導を受けながら、増えすぎた木々の間伐や下草刈りをしたほか、低花木を植える植樹祭なども開催できました。また参加者のアイデアによって、間伐材をチップにして、肥料などに活用するという試みがはじまろうとしています。

支援金額 1,500,000円  
低花木の植栽 100本



P.P. 特定非営利活動法人 奥播磨夢倶楽部

徳島  
地域住民で守る神山の里山保全



間伐林が、バイオマス発電の燃料などへ。森のチカラが、暮らしのチカラになっています。

ここ四国の徳島でも、放置された森林は大きな課題です。このプロジェクトでは、町の中心部に隣接する放置林を整備し、間伐材を有効活用しています。昨年度はパワーステーションをレンタルできたこともあり、スギやヒノキの間伐材をスムーズに運び出すことに成功。薪やバイオマス燃料、さらにはログハウスに生まれ変わりました。今年度は、待望のフィンランド式サウナの完成が期待されています。

支援金額 2,498,782円  
間伐 16,000㎡  
(積材を考慮した実面積)



山の中に間伐材を利用したサウナができました！ありがとうございます！  
吉澤 公輔さん 齋藤 郁子さん 長谷川 浩代さん  
P.P. 特定非営利活動法人 グリーンバレー

2019年度 新たなプロジェクトがスタート!!

CO2を減らしながら環境意識を高めることを目的に、皆さまのご支援を効果的に活用させていただきます。

NEW! 神奈川 野生化した竹林を食い止めよう

日本各地で野放しにされた竹林が問題になっていますが、それは観光地として人気の高いここ鎌倉も例外ではありません。かつてはシイやタブノキといった照葉樹林が、生物多様性の豊かな森をつくっていましたが、最近は竹林に追いやられています。照葉樹が減ると、そこに棲む生物の種類が減少してしまいます。それだけでなく、竹は地中深くまで根を張れないために地盤の弱体化を引き起こし、災害に弱い林になってしまうのです。これらを防ぐために野生化した竹林を間伐し、どんぐりから育てた苗木を植林します。これらの活動に鎌倉や近隣の皆さまと取り込むことによって、正しい森林のあり方を根付かせたいと思います。

CO2を吸収しながら、自然災害に強い森づくり。竹林と照葉樹林が、美しく棲み分ける鎌倉へ。



森を残し育てる活動へのご支援感謝いたします。  
長谷川 孝一さんと皆さま  
P.P. 一般社団法人 地球の楽校

NEW! 和歌山 生物多様性を体感できる森づくり

かつては日本中に広がっていた水田地帯。和歌山県のもうこの不動谷は、豊かな生物多様性が今なお残る貴重な場所です。エコカード基金では、このような自然を、未来の主役である子どもたちに伝える活動をサポートしていきます。この地には、和歌山県のレッドデータブックに絶滅危惧種として登録されている、ニホンアカガエルやカスミサンショウウオなど、他の地域ではめったに見ることができない動植物が生息しています。これらを守るために、ピートープ(とんぼ池)や無農薬水田の整備、さらには300,000㎡にもおよぶ広大な里山で、草刈りや間伐を実施。さらには地元の子どもたちへの環境教育に、このフィールドを生きた図鑑として活用していきます。

ニホンアカガエルなど希少生物が生きる自然を守り、生物多様性がさらに豊かな里山へ。



この度は、コスモエコカード助成いただきまして、ありがとうございます。100年後の未来の子どもたちに、美しい里山を継承できるように、活用させていただきます。  
北原 敏秀さん  
P.P. 特定非営利活動法人 自然回復を試みる会・ピートープ孟子

